

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：小児における超音波ガイド下血管穿刺の有用性の調査

1. 研究の対象

2023 年 11 月 1 日～2027 年 3 月 31 日に筑波大学附属病院で診療され、超音波を使用して血管穿刺が行われた小児の患者様

2. 研究期間

病院長による研究実施許可後～2028 年 3 月 31 日まで

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日：2024 年 6 月 1 日

提供開始(予定)日：該当なし

4. 研究目的

小児における超音波ガイド下での血管穿刺は広く用いられるようになっていますが、年齢・穿刺する場所、鎮静度など不明な点が多いです。本研究によりこれらを明らかにし、成功率をあげる要素について検討することを目的とします。

5. 研究方法

カルテなどで過去の診療記録を参照して超音波ガイド下血管穿刺の実態調査をとりまとめる研究です。筑波大学附属病院臨床倫理審査委員会の承認下で行われます。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

診断名、年齢、臨床所見(性別、身体所見)、血管穿刺の内容(末梢静脈路、末梢動脈路、末梢挿入型中心静脈カテーテル)、穿刺部位、穿刺回数、穿刺結果、使用していた薬剤、画像検査や生理検査の所見などの過去の臨床情報を調査します。

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 外国にある者に対して試料・情報の提供する場合

該当なし

9. 研究組織

本学単独研究

10. 利益相反(企業等との利害関係)について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は筑波大学附属病院の病院講師教育経費です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

1 1. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

1 2. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者の所属・氏名：筑波大学附属病院小児内科 奥脇一

住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1

連絡先：TEL：029-853-5635、FAX：029-853-8819、

E-mail：okuwaki.hajime.ms@alumni.tsukuba.ac.jp

対応可能時間：平日 9～17 時